



twitter小説作品集
【ノンタイトル】 2

Kazuyoshi Hinomoto

ブランデーを飲みながら

ブランデーを飲みながら、私は思う。面白い人生だ！手の中の髪の毛を見ながら、自惚れではなく私は成功者だと思う！手の中の髪！幸運の女神の髪の毛だ！幸運の女神には前髪だけだ！だから彼女は、今、つるばっげだ！

焼き芋屋

最寄駅で降りると、駅前に焼き芋屋があった。最近、めったに見かけなくなった。ポケットからしわしわになったお札を出して、焼き芋を買う。焼き芋を抱えて家路を急ぐ！暖かい！帰ったら家族で食べよう！

別荘

彼女と別れた！携帯は繋がらない！誤解を解くため、家に電話する。母親が出てきて、彼女が別荘へ行っていることを告げられる・・・雪の中を歩いている。別荘はもうすぐだ！疲れてこれ以上動けない！・・・別荘の近く、別荘の近く男が眠っている！春までは誰にも邪魔されず・・・

お母さんが出て行った

お母さんが出て行った！お父さんが会社へ行かなくなったせいかもしれない！今日はお父さんと一緒に出かける。お父さんはお馬さんに夢中だ！・・・雪が降りだした！寒い！ポケットにある小銭で肉まんを買う！ひとつしか買えない！半分ちぎってお父さんに渡す！お父さんが泣いている！

玉を取る

やくざがドスを抜いて対立する組の組長へ言う「悪いけど！玉を取らせてもらうぜ！」
「ぎゃ！」・・・組長「本当に玉をとるなんて！いや～ん！バカ！」

愛しているから殺した

「愛しているから殺した！」と犯人が言った。刑事をやっていると見たくもない人間の本質を見てしまう。家に帰ると男がいた！妻が不倫をしていた！男は逃げた！私は妻の首を絞める！・・・「愛しているから殺した！」犯人の声がよみがえる！

娘の成人式

今日は娘の成人式！親バカと思いつつ出かける娘の姿をこっそり見る！着物を着ている。妻が買ったのだろう！娘が遠ざかっていく・・・さて、私は帰ることにするか天国に！

脱いで！

さあ！脱いで！ おじさんが教えてあげるよ！ 指を使ってね！ いひ！ 楽しいね！・・・手袋は脱いだ方がいいよ！ あやとりは・・・

立ち食いそば

北国の駅のホームで電車を待っている！凍てつく寒さだ！立ち食いのそばを食べる。暖かい！店の親父はそばの店は別にあり冬だけホームで立ち食いをやっていると言う。冬は『そば』ではなく『暖かさ』を売っていると親父は言う。

男は強くなければ

妻と古い映画を見ていた！『男は強くなければ生きていけない。優しくなければ生きている資格がない』と言っていた。妻に言う「僕は強くもなければ、そんなに優しくない！」妻「大丈夫！私は強いし、優しい！」それもいいかなと僕は思う。

大きな地震

地元で大きな地震が起こった！地元に住み仕事をしていた私は、家族を失い！仕事を失った！何も無くなった私は暫く何もする気が無くなった！・・・ある時、ネット上でtwitterを見つけた！今も自分の気持ちを呟いた！反響があった！もっと呟いた！何か変わるかもしれない・・・

おみくじ

元旦に引いたおみくじが『大凶』だった！その後、会社をリストラされた！・・・今、私は易者をやっている。道行く人に声をかける。「そこの貴方！そう貴方！まもなく大きな災難に会いますぞ！」

首がころころ

雪の日。学校へ行く道を歩いていた。雪だるまがあった。僕は雪だるまを蹴飛ばす！雪だるまの首がころころ転がる！・・・学校の帰り、雪は溶けて道に張り付いている。と、トラックが！スリップして！僕の首が転がる！ころころと・・・

死神が言う

何もかも嫌になり、睡眠薬を飲む！死神が現れて言う。「まだ早い！」目覚めた！病院のベッドで寝ている！でも何故なんだろう！死神の顔が妻に見えたのは・・・

かくれんぼ

子供達がかくれんぼしている。一人の子だけが見つからない！日が暮れてきた！鬼がいる！鬼は男の子と遊んでいる！時間が止まったように、永遠に・・・外の子供達が大人になった！男の子ことは忘れてる！たまに声が聞こえる。「まーだだよ」

何で間違えたんだ！

【前世】女「幾世生まれ変わってもあなたと添遂げます！」男「幾世生まれ変わってもお前を見つけ出す！」・・・【現世】男「何で間違えたんだ！」男〔もと女〕「ごめん！間違えたものしょうがないじゃない！」男「しかもオカマだし・・・」

雪のうさぎ

卯年なので、雪でうさぎを作ってみた。うさぎはまるで生きているようにぴょんぴょん跳ねる！・・・公園で男が凍死した。酔っ払って寝てしまったらしい・・・

眠れる森の美女！

妖精たちに導かれて森に入る。そこには、美しい姫が眠っていた。僕はそっと姫にキスをする。姫が目覚めて僕と目が合う。「いや！」と姫は叫んで！ 睡眠薬を飲む！ 眠れる森の美女！ 彼女を起こせるのは誰か？

眠れる森の美女？

妖精たちに導かれて森に入る。そこには、美しい姫が眠っていた。僕は姫にキスをしようと思ったが、いきなりエッチをする。姫が目覚めて僕を往復ビンタ！そして言う。「ちゃんと付けてよ！」 いきなり目覚め過ぎだ！

おにごっこ

おにごっこをしていた。おにのヒロくんがちかづいてくる。いきおいあまってわたしをおす。わたしはいけのなかへ・・・友人の家に遊びに行って帰りが遅くなる。久しぶりにこの道を通る。考えたら十年ぶりだ。あっと！足を滑らし池に落ちる！「おにさんこちら」声が聞こえる！

3分間待つ

お腹が空いたので、お湯をかけて3分間待つ！即席ワイフが出来上がる。俺は言う「ラーメンを作ってくれ！」 カップメンにお湯を入れた方が早いって！それでは味気ない！

子猫が鳴いている！

雪が降っていた。帰り道を歩いていると道の脇に子猫が鳴いている！ 捨て猫だ！ 僕はつれて帰る！ 猫が震えている。抱き締めて帰る。夢を見た！ 夢の中で美しい少女が僕に抱きつく・・・朝、子猫が僕に寄り添って寝ていた！

途中下車

電車でうとうと眠っていた。はっと目覚める！周りを見渡すと死人のような血の気の無い顔をした人々。気持ち悪くなり次の駅で途中下車。トイレで自分を顔を確認する。よかった普通だ！先程乗っていた電車で事故があったと知ったのはその後すぐ・・・

尊敬できない人

先生「自分の嫌いな人とか、尊敬できない人からも学ぶところはある」生徒「例えばどんな点ですか？」先生「どんな人間にも必ず良い点があるので、それを学びなさい！」生徒「先生の良い点とは何ですか？」

限界を超えました

ツイッター小説を投稿したら、『処理能力の限界を超えました』とエラー表示された。気を取り直して、ツイッター小説を投稿する。『創作能力の限界を超えました・・・』

幼い姉弟

神は人類を滅ぼすことを決め、人類にもそのことを告げた。自暴自棄になった人類は暴徒となって暴れまくった！ 幼い姉弟がいた。姉が弟に言った。「私が守ってあげる。こわい人からも神様からも」そして、抱きしめる。・・・神「人類滅亡は中止するか」ぼそっと呟く

たき火

猫がたき火をしている。何をしているのか聞くと獲った魚を焼いていること。人間に飼われていたので、たまに焼き魚が食べたくなるそうだ……。何となく哀しい！

そうめん職人

冬の寒い日。そうめん職人が外でそうめんを寒風にさらしている。その後2年熟成する。いいそうめんの中心は中空になっている。夏に食べるそうめん！ 美味しい理由は冬の空気を閉じ込めているから！

『夢』を売って下さい

コンビニへ行って、『夢』を売って下さいと言うと。「大きさはどうされます?」「中で」と答えると。「生憎、中と小は売り切れです」と言われた。「じゃあ。大を下さい!」なぜだか中と小の『夢』は売り切れて、大は売れ残る。大きさに関係無く『夢』は無料なのに・・・

猫が釣りをしていた

池で猫が釣りをしていた。釣れるかと聞くと。結構、釣れるとのこと。獲った魚を見せてもらおうと『たい焼き』だった。くれると言うので持って帰る。電子レンジで温めて食べてみると魚の味がした。

アイコンの写真

twitterを始めた。アイコンには自分の写真を使用した。1週間後、アイコンの写真を見ると少し老けた気がした。2ヶ月後、アイコンの写真を見るとすっかり老人だった。不気味に思い、twitterをやめた。1週間後、鏡を見ると・・・

意地悪な神

意地悪な神が人類を滅ぼそうとした。心優しい悪魔が人類を護ろうとした。結局、人類は滅び、悪魔は一人の子供しか救えなかった。その子供が大人になり、人類より文明レベルが低い知的生命体の惑星へ。そして、惑星の人々に言う。「私は神である！」

ラーメン屋ができた

近所に新しくラーメン屋ができた。行ってみた。が！そこにも張り紙が有り『ラーメンの注文はお断りします！』 昨今のつけ麺ブームでどこのラーメン屋もそうだ！それなら、ラーメン屋の看板を出さなくてもいいのにと思いながら店を出る。

母親の面影を追って

雪ん子が泣いている！ 母親の雪女を面影を追って！ 涙が雪になり降りそそぐ！ 泣き声が風になり吹き荒れる！ 今年が寒いのはそのせいかもしれない・・・

未来の状況が分かる

突然、男は未来の状況が分かるようになった。男はその能力を使い投資で莫大な財産を得た。しかし、男にはある以降の未来の状況が分からなかった。その日の前日、男は自殺した！ 遺書にはこう書かれていた。『果たして自殺しなければ。いや！ 仮定の話しはやめよう・・・』

シングルマザー

シングルマザーの私はtwitterにはまっている！知合いができたから。今日も愚痴を呟く！返信がある「一生懸命！やっていれば良いことがあるよ！」息子と同じ間違い。一生懸命、一所懸命だ！息子の部屋からキーボードの音がする。ツイートする「もう晚いからお休みなさい！」

福は内！

「鬼は外！」私は豆を投げる。鬼さんは逃げる・・・逃げる 鬼さんが転んで、お面が外れてお父さんが現れる。「福は内！」とお父さんは言い私を抱きしめる！

恵方巻き

恵方巻きを食べようとする。 「お前も巻かれているぞ！」と巻き寿司が言う。 無視して食べようとする。 「お前も誰かにかぶられているぞ！」とまた巻き寿司。 うるさいので食べようとして願い事を言う。 「出世できますように！」すかさず巻き寿司「無理だ！」巻き寿司を投げ捨てる！

節分の翌日

節分の翌日パチンコへ行った、鬼が出てきてパチンコの玉を投げる！何故そんなことするのかと聞くと。昨日の仕返しだと言う！謝ると、鬼は許してくれた！・・・それ以来、節分になると家で鬼と一緒に鍋を食べている！

子犬

公園で子犬を拾った。子犬は成長し大きな犬になった。ある日、家が火事になる！もう駄目だ！ そう思ったとき犬が服の袖を噛んで導く！ なんとか助かる！ 犬を抱きしめて思う！
本当に大きくなったと・・・

今シーズン

「今シーズンはキツかった」とそいつは言う。「お疲れ様」と言うと。「いや！まだひと頑張り！」とそいつは応える。「だから頑張らなくていいから！」と私はそいつ、『冬』に言った。

朝から会議だ！

朝、雪で上手く歩けない。駅に着く。電車には乗り遅れた。朝から会議だ！タクシーで会社へ向かう。ニュースで電車の事故を知る。渋滞で遅れて到着すると、会社のあるビルが崩れ落ちる！助かった！持っていた近所の神社の御守りを見て呟く「まさか！」途端に雨が降り出す。

風邪を引いて

風邪を引いて寝込んでいた夜。妻が私の代わりだと言って、お酒を飲み始める。「何だよ！それ！」と私が言うと。「あなたの分」と言って、テーブルの上に玉子酒を置く！

頭の中から

頭が痛い！最近、ずっと頭が痛い！突然、頭の中からノックの音がする。無視していたら、頭が開き小人が出て来た。小人は私を見て「ふん！」と言って何処かへいってしまう。それからである私が馬鹿になったのは・・・

twitterの知人

twitterで付き合いのある知人と待ち合わせをする。待ち合わせ場所に着く。DMで到着したことを連絡する。返信が有る。相手も到着しているとのこと。僕は近くで携帯を打っていた人に言う。
「始めまして！」随分前から知っているいるが初対面の女性が微笑む・・・

羊を数える

目が覚めて眠れない！頭の中で羊を数える。羊が一匹。羊が二匹・・・私は大牧場のオーナー！・・・ここで目が覚める！

手作りチョコ

付き合っている彼女から手作りチョコをもらった！嬉しかった！帰宅後、自分の部屋でチョコを一齧りすると、チョコの中から手紙が出て来た。『さようなら！ホワイトデーのお返しはいらないわ！』と書かれていた。カカオのほろ苦い味がした！

冬の花火

部屋の中を片付けていると、夏に買ってそのまま忘れてしまった花火が出て来た。火が点くかどうか分からなかったが、雪の上で花火に火を点ける！白い雪の上に炎の花びらが舞う！美しい炎が凍える！

暖かくなるよ

「手を擦り合わせると暖かくなるよ！」とお父さんが言った。そのお父さんはもういない。誰もいない公園で仔犬が震えていた。手を擦り合わせてから仔犬を抱き締める。暖かい！なんだか眠くなってきた・・・

ランチはハンバーガー

時間が無い時のランチはハンバーガーに限る。という訳で最近、私はランチにハンバーガーばかり食べている。今日もそうだ。ハンバーガー店の外の客が私を見ている気がする！鏡に映った自分の姿は、ポパイのハンバーガーおじさんそっくりだった！

鍋焼きうどん

お母さんが風邪をひいた男の子のために夕食を作っている。お盆で出された夕食は鍋焼きうどん。美味しそうに鍋焼きうどんを食べている男の子の頬が微かに火照る！鍋焼きうどんと一緒に、お盆にはお水と風邪薬が置かれていた。

運命を司る力

文字には運命を司る力が有ると言われている。『幸福』と毎日書いている。一向に効果が無い！ある日、むかついて『不幸』と書いた！一発で効果がある！人生なんてそんなものさ！

前世がパンダ

前世がパンダだったことを思い出した。それから毎日、動物園へ閉じ込められる強迫観念に悩まされる！ある日、家を抜け出し蒸発する！腹が減る。笹を探す但都会では見つからない！と言う訳で家へ帰り、支那竹を毎日食べている・・・

桜が咲く頃

『桜が咲く頃には僕もういない！』と書かれた手紙が届いた。驚いて差出人を確認すると『冬』と書かれていた。

ヒロくんが呼んでいる

ヒロくんが呼んでいる。一緒に遊ぶ。ヒロくんと一緒に遊んだのは久しぶりだ。ヒロくんが交通事故に遭った日以来だ！向こうから車が来る！そういえば、ママが道路で遊んではいけないと言っていた・・・

さつま芋

昔の話である。世界的な食料不足になり、人も動物も飢えた！ひとつのさつま芋がその事を憂い！子芋、孫芋、何百、何千、何万・・・と芋をつける。そして大きく、もっと大きく。人と動物もその芋を食べて飢えを凌いだ！・・・もとの親芋は豆粒位の大きさになっていた！

トイレトペーパー

トイレでトイレトペーパーを使っているとでかい『？』マークが！その後に血の様な赤いしみが！気になって巻いていると『キャー』と言う文字が！さらに巻いていると『このトイレトペーパーは間もなく使用終了となりなす。販売促進委員会』

死にたいと呟いている人

twitterでたまに死にたいと呟いている人がいる！今日も見かけた。そういう時、『じゃあ！死ねば！』と返信したくなる。今日ついに誘惑に負けて返信してしまった！『ばかやろう！大きなお世話だ！』と返信があった。ほっとした！別に本当に死んでも気にしないが・・・

耳掃除

耳が痒かったので、耳搔きで耳掃除をする。ダイヤモンドが出て来た！宝石商へ持って行くと、本物だと言う！それから毎日、耳搔きでダイヤモンドを掘っていた。大金持ちになる・・・最近、記憶が曖昧になってきた！でも、記憶が曖昧なぐらいかまわない！人生とは曖昧なもの

少年の幽霊

何処の学校でも怪談話がある。放課後、6年4組の教室に少年の幽霊が出るという。6年4組、私のクラスだった。忘れ物をして放課後、教室へ戻る。少年がいた！「君、幽霊なの？」と訊ねる。「僕はある人の忘れてしまった思い」と笑う。翌朝に見た校長の顔に少年の面影が・・・

テレビの通販番組

テレビの通販番組を見ていると。某タレントが『そこのあなた！お買い得ですよ！』と言っていた。ああ！いつもセリフだと思った。だが！違った！テレビの画面に私の顔写真が映る。思わず商品を購入してしまった！ピンポイント宣伝！でも宣伝費、元を取れるかな？

酒に溺れる

酒を飲んでいる！ 最近、酒に弱くなった！ 酒に溺れる！ 昔は酒の海を泳いでいたのに・・・

犬が来た

ハンバーガーを食べていると犬が来た。ハンバーガーのハンバーグをちぎって投げる。犬は一口食べて『ワン（不味い）』と吠えた！そこへ飼い主が現れて、犬に肉を与える。犬がこっちを見て『ウー〜ワン（貧乏人！）』と吠える。

小指が消えた

ある朝、左手の小指が消えた！翌日、左手の薬指が消えた！5日目には左手の全て指が消えてしまった！今日が9日目、右手の親指でキーボードをたたいている。明日にはその指も消えてツイートできなくなる・・・さようなら！

音楽を聞きながら

私はいつも音楽を聞きながら小説を書いている。希望に満ちたストーリーを書く時は元気が出る音楽！哀しいストーリーを書く時は哀しい音楽！今日は音楽を切って書いている。今日の小説は虚無と静寂に満ちたストーリー！

ひな祭り

今日はひな祭り。ひな人形が飾ってある。私はひな人形を見ている。去年は姉と一緒にひな人形を見たのを思い出す。姉は何処へ行ったのだろ。それよりなぜ、一年間姉のことを忘れていたのだろう。そう言えば、お雛様の顔が姉に似ている・・・

ちらし寿司

小学生の娘のために男手でちらし寿司を作る。悪戦苦闘の末、包丁で手を切りながらもなんとかできた！ちょうど娘が帰って来た！「そのご飯の上の赤いものは血？」「ちらし寿司。いや血出し寿司！」「そんなもの喰えるか！」バコーン！殴られた！最近の小学生は力が強い！

死神に生まれ変わった

私は死んだ。そして、死神に生まれ変わった。最初の仕事は、なんと前世の妻の死を看取ること。妻の最後に立ち会う。立ち会えて良かった！妻の霊を天国へ送る。妻は私に聞く「どこかで会ったことが？」「ない！」と答える。妻は天国へ入る前に私を見て、不思議そうに首を傾げる。

国境紛争

A国とB国はある無人島の領有権を巡り、国境紛争が絶えなかった。あまりの犠牲者の多さに両国は協議して、無人島に核弾頭を打ち込み島を消し去った。大量のダイヤモンドが埋蔵されていることも知らずに・・・

妻と一緒に死んだ

交通事故で妻と一緒に死んだ。天国の門をくぐる前、妻は言った「私は悪魔なの！人間界へ送り込まれたの！」私は妻に言った。「それでもお前を愛している！」そして、地獄へ向って歩き出す！妻と一緒に！

やっと奴が消えた

やっと奴が消えたと思ってほっとしていたのに、また奴は戻って来た！もういい加減に居座るのはやめてくれ！今回は随分長く居座るのだな！意地が悪い奴だ！心の中で奴、『冬』に毒づく！

おもちゃのピアノ

ゴミ捨て場におもちゃのピアノが一台。壊れてはいないようだ。ピアノので遊んでいた子が飽きたのだろうか・・・弾いてみる。『ぽろんぽろん～』何だか哀しい音だった・・・

マクドナルドの店員

いつも行くマクドナルドに気になる子が店員をしていた。今日もハンバーガーを買ったが笑顔が無い。「スマイルは今日から値上げしました」と言う。「いくら？」と訪ねると。「スマイルはお金では買えません」との返事。翌日、僕はスマイル代金の映画のチケット2枚持って店に行く！

雀になった

ビールを飲んでうとうとしていると、雀になった夢を見た。私は大空を自由に飛び回り気分爽快！ 翌日、また夢を見た。串に刺されて、火あぶりになっていた！ もう、つまみに焼き鳥を食べるのは止めよう！

久しぶりだ . . .

携帯に友人からメールが届く。僕達は駅前で待ち合わせをする。居酒屋にて友人とくだらないことで議論する。結構、飲んだ！今日は気分がいい！そう言えば、いつもはメールのやり取りで友人の声を聞いたのは久しぶりだ . . .

優しい子

世界的に天変地異が続いた為、食料が不足した。災害用の非常食が有ったことを思い出して家族に配る。娘がポチに食べ物を分けている。優しい子だ！・・・と思っていると娘が戻ってきてほつりと言う。「犬って美味しいのかな？」 言葉が出なかった・・・

テレビを拾った

テレビを拾ったので家に帰って点けてみた。井戸から白い服の女が這い出してくる。テレビから半分身を乗り出した時点で女の動きがとまる。「私も地デジ対応しなきゃ」と女は言う。

今月でお別れ

やっと彼と別れることが出来そうだ。彼は私につきまとっていた。でも、今月でお別れになりそうです。本音を言えば彼には嫌気がしているが、時間がたてば懐かしくなるかも。私は彼『冬』にお別れを言う。

いつも行くコンビニ

いつも行くコンビニに気になる子が店員をしていた。今日も買い物に行く。震災の募金箱があったので小銭を入れる。「愛の寄付にもご協力下さい！」と店員。「募金箱が無いのだけど？」と僕。「お金では無く貴方の愛を分けてください！」その後の事は機会が有れば・・・

買い占め

コンビニに行って『希望』を買い占める。人々は希望を失い暗い顔になった。しかし、暫くすると人々は笑顔を取り戻す。売り物の『希望』ではなく、本物の『希望』を取り戻したからだ。買い占めた『希望』を廃棄する。

マスクをして

マスクをして家を出る。今日は少し日差しが強いから、マスクが煩わしい。花粉症？ いや花粉症ではない！ 放射能対策のマスクだ！ こんなことになるなんて誰が予想しただろうか・・・

心が折れた

お兄ちゃんが「心が折れた！」と言った。私はお兄ちゃんの為にコンビニを行った。お兄ちゃんに接着剤を差し出す。お兄ちゃんは驚いた顔をした後、「ありがとう！」と言い笑った！

二次元の世界

このアカウントは二次元の世界に繋がっています。二次元へ行きたい方はRTして下さい！

関西が元気を

友人の家を訪ねる。「ちょっとは節電しろよ！」と僕は友人に言う。「なに言っているんだ！こんな時こそ関西が元気を出さないと！」僕は知っている友人が震災被災地の為の募金へ寄付をしていることを・・・

重い荷台

お父さんが亡くなった！それ以来、お母さんが重い荷台をひいている。私は後ろから力を加える。妹も後ろから押す。重さが随分軽くなる。積荷の名前は『悲しみ』・・・

悲しい事

やっと僕の出番が回ってきた。登場した途端に悲しい事があり僕は落ち込み元気がなくなる。こんな時だからこそ頑張らないといけないと思う。もう少し待ってくれ！ そうしたら僕は元気を回復するから！ そう決意する僕『春』であった。

日本中が停電

日本中の原発を停止したため、電力が供給出来なくなり日本中が停電した。日本列島が闇に包まれる。真っ暗な中、誰かが一本のろうソクを灯した。やがて、日本中がろうソクの光に包まれる

。

心音

男は震災で妻と息子を失った！今は幼い娘と一緒に避難所にいる！夜、幼い娘が不安を感じて怖がっている。男は娘を抱きしめて自分の心音を聞かせる。娘は落ち着いて眠りに落ちる。いや！落ち着いたのは男の方かもしれない。娘を抱きしめた温もりによって・・・

浴びるほど酒を飲んだ

浴びるほど酒を飲んだ！忘れたいことが有ったから！最近、毎日酒を飲んでいる。明日からは止めるつもりだ。毎日そう思っている！でも、毎日酒を飲んでいる！・・・俺は駄目な人間だ！

日本列島

僕は太平洋の海の上にいる。ここには昔、日本列島と呼ばれた島があった。21世紀の初めに沈んだということだ。僕が良く見るアニメや好きな食べ物の寿司はこの文化だったらしい。何より僕自身は何分の1かはこの島の住人の血を引いている。僕は今は何も無い海に花束を投げ入れる！

10年前の俺

古いアルバムを見ている。10年前の俺がいる！後悔している何故あの時、彼女に気持ちを伝え無かったんだろう。10年前の俺に対して「バカやろう！」と言う。

今日撮った写真

今日撮った写真を見ている。何故、今日僕の気持ちを伝え無かったんだろう。誰かが「バカやろう！」と言っている。多分、僕自身だ！明日、気持ちを伝えよう。運命が変わるかどうかは知らないが・・・

140文字で

私は毎日のようにツイッター小説を書いている。いつも思う！ 140文字で想いは伝わらない！ それでも書き続けている！ 想いは伝えたくて・・・

ゴミ焼却場

地上に向かうためエレベーターに乗る。そのエレベーターは認証確認が必要で静脈認証装置に手をかざす。私は急いでゴミ焼却場に向かう。何かが燃やされている。目に凝らすが良く見えない。何かまがまがしいものが燃やされている！

自肅

春になった。しかし、今年は震災の影響で自肅して、みんな花見に行かない！ 花見！ 春になって桜の木に降りてきた神様を料理と酒でもてなす儀式！ 今年は神様も悲しんでいる！

友が亡くなった

友が亡くなった。40年来の付き合いだった。最近はあまり付き合いが無かった。一人で水割りを飲みながら思い出す！40年も経っているのに昨日の事のように思い出す！

制限文字数が1400文字

ツイッターの制限文字数が1400文字になった。最初これで140文字で表現出来なかった呟きが可能になると思った。でも何を呟いたらいいか分からなくなった。それ以来、呟いていない・・・

地獄の門

地獄の門が開いた！ 僕は急いで逃げる！ 多くの人々が門から地獄へ飲み込まれていく！ 僕は何とか助かった！ 知り合いの何人かが地獄へ飲み込まれた！ 助かって良かったとは思えない！

むき出しの大地

午後から雨になった！ むき出しの大地に雨水が吸い込まれて行く！ 放射能を含んだ水！ この土地が人間の手にかえるのは何時だろうか・・・

遺言状

有名な作家が死んだ。遺言状には『私の生きた証、作品をすべてこの世から消して欲しい』と書かれていた。意外なことに出版社や彼のファンは彼の作品をすべて放棄した。私は思う。果たして彼の生きた証はすべてこの世から消たのだろうか・・・

コロッケにウスターソース

最近、仕事が上手く行かなく。毎日のように酒を飲んでいる。そう言えば、死んだ叔父さんもよく酒を飲んでた。叔父さんのまねをして、コロッケにウスターソースをたっぷりかけてつまみにする！懐かしい味がする・・・

頑張れ！

「頑張れ！」というメールが男に届いた！ 男は災害に合い家族を失い！ 家を失い！ 仕事を失った！ 男はメールに向かって毒づく「お前も不幸になれ！」

君は望みは？

国王は国民のために何が出来るかといつも考えていた。ある日、国王は小さな村を訪ねた。その時一人の少年に聞いた。「君は望みは？」「皆でいい国を作りたいです！」と少年。それから数十年、国王は自ら退位する。選挙が行われた。大統領になったのはあの時の少年だった！

花見

今日は花見に来ている！ 桜がきれいだ！ 去年の花見から色々なことがあった。今年は桜が咲かないではと思ったことさせあった！ でも、桜は咲いている！ 桜はきれいだ！

蕎麦の美味しい店

今年になって蕎麦の美味しい店を見つけた。今日は久しぶりに行ってみる。ふっと思う！美味しいけどつゆの味が少し変わった気がする。気になって聞いてみた。季節によって味を少し変えてあると店主が答える。

いまいのりが悪い

出演してもう1ヶ月以上が過ぎたがいまいのりが悪い！ 出演して直ぐのアクシデントが響いている！ 皆が心配しているみたいだ！ 頑張らないと！ そう思う『春』であった！

金の卵を産む鶏

男は金の卵を産む鶏を飼っていた。男は欲張りで、金を産むしくみを知りたくて鶏を解剖してしまった。けど理由は分からなかった。腹を立てた男は鶏を食べてしまった。それ以降、男は金のうんこをするようになった！・・・それ以降、男の妻がそうした男に興味津々監視している！

学校が倒壊した

地震で学校が倒壊した！ 目の前でヒロで死んでいる！ 右手で触っているものがある。そっちを見ると美智子先生の首！ 笑ったまま凍りついた顔！ 怖くなり逃げようとするとう右足が無かった！ その時、余震があり再び倒壊が始まった。私は押し潰されていく・・・

手軽な食べもの

男はお茶漬け店を始めた。お茶漬けは和食のファーストフードで手軽に食べれることが理由だ。思惑は当たり店は一大チェーンとなった。接待で男は遅い帰宅。妻「何か召し上がりますか？」男「お茶漬け・・・いやいい」男にとってお茶漬けは手軽に食べれるものでは無くなっていた・・・

ティッシュ配り

黒い紳士がティッシュを配っていた。受け取ってよく見るとティッシュでは無く白い何かだった！黒い紳士に聞いてみると『禍』だと言う。返そうとすると、最後に『希望』が入っているから受け取った方がいいと言う。確かに広告が入る部分に黄色い何かが入っている！

寝れない・・・

寝れない・・・ツイートが一つ、ツイートが二つ・・・

twitter小説をツイート

twitter小説をツイートすると、誰かがアンサーのtwitter小説をツイートする。そして別の誰かが・・・私もそれに加わりツイートする・・・いつしかtwitter小説は長編小説へ・・・そこで目が覚めた！白昼夢！

文字が逃げ出した

新聞を読もうとすると文字が逃げ出した！私は文字を追いかけるがなかなか追いつかない！「おい！なぜ逃げる！」と文字に声をかける。「貴方はなぜ追いかけるのですか？」文字からの返事。「記事を読みたいからだよ！」と答える。「なぜ自分で確かめないのですか！」と文字。

おにぎり

少女が家へ帰るとお母さんがいなかった！テーブルの上にはおにぎりが置いてありメモが書いてあった。『しばらく家へ帰りません』とメモには書かれていた。少女はおにぎりを食べながらお父さんがいなくなった時のことを思い出していた。おにぎりの味はいつもよりしょっぱかった・・・

twitter依存症

健康診断の結果、twitter依存症だと診断された。自覚症状は無い。確かに1日中twitterをしているし、この前JRの吹田（すいた）がツイッターに聞こえたが・・・そうそう、140文字にはまだ余裕があるがこのへんで話しを終わります！

その子

その子と合ったのは夜の街だった。まだ若い。どうやら帰る所が無いみたいだ。家へつれて帰る。名前を言わないので『ミヤ』と呼ぶことにする。夕食を食べさせて休ませる。朝起きると横にミヤが寝ていた。俺の布団に潜り込んできたのだ！「おはよう！」「にゃ～」とミヤが答える！

姉もいた

少女には兄がいた。姉もいたが死んだと言うことだ。飢饉でろくに食べるものがなかった。そんな中、夕食に肉が出た！何の肉かは分からない。その日、兄がいなくなった！やっと収穫が始まる！父が母に言う。「なんとかなるかな！もう一人作るか！」そして少女を見てにっこりと笑う！

USBメモリ

机の中を整理していたらUSBメモリが出て来た。昔、仕事で会社の同僚と一緒に使っていたやつだ。田口と言うフォルダがある。昔の同僚名前だった。確か会社を辞めた奴だ！懐かしくて奴のフォルダを覗く。フォルダの中には遺書と言うファイルが・・・いまさら・・・USBを引き抜く

特技は催眠術

私の特技は催眠術。今から携帯電話を使って催眠術がかかるかを試してみる！友人に電話をする「お前はこれから俺に合いに来る！」友人「はい。分かりました！」暫くしてから別の友人から電話が入る。「〇〇が交通事故で死んだ！」〇〇 さっき電話した友人だ・・・

悪魔と天使が現れて

朝起きると死んでいた！悪魔と天使が現れて、各々あの世へ案内してくれるとのことだ。私はすかさず天使について行く。着いたのは地獄！え！何故？私は天使を問い詰める！天使「私に着いて来ることは天国へ行こうとしていたな！自分をかえりみない人は天国をは行けない！」

悪魔と天使が現れて（別の人）

朝起きると死んでいた！悪魔と天使が現れて、各々あの世へ案内してくれるとのことだ。私は悪魔について行く。着いたのは地獄！悪魔は申し訳なさそうに言う「あなたの様な人は本来は天国なのですが、今、天国は満員で・・・」「いいよ！」と言って地獄へ踏み出す！

いやいる！

「私は愛の女神！もう直ぐ消える！あなたが愛を伝えないから」と彼女は消えながら言う。僕は勇気を出して告白する。「愛している！行かないで！」彼女は笑い出した！「やっと言った！女神なんている訳ないでしょ！トリックよ！」「いやいる！」と言って彼女を抱きしめる・・・

奴の首を締める

奴の首を締める！奴は苦しそうな表情さえしない！それどころか薄ら笑いさえ浮かべている！俺は馬鹿らしくなって手を緩める！所詮、鏡遊び・・・

悪魔に勝ち

人類と悪魔との戦いが始まった。人類はかろうじて悪魔に勝ち、悪魔を滅ぼした！その瞬間、神が地上の降りてきた。そして人類に言う。「本当に滅ぼしてしまったの？また造らなきゃ！造るの手間なんだよね！」

空気が熱い！

空気が熱い！火事だ！一瞬、記憶が飛んでいたみたいだ。あの子を探さなきゃ。いた！足を怪我しているみたいだ。抱きかかえて外へ出る！抱きかかえていた子が私を見て「にゃ！」と鳴く！子猫は無事だ！

贈り物の中身

友人から贈り物が届いた。贈り物の中身は『希望』だった！丁度、片手に乗るくらいの大きさだ。その後、友人は行方不明になる！僕は『希望』を育て続ける。今、子猫くらいの大きさだ。両手で抱えきれないくらいになったら、友人が帰ってくる気がする！

桃が流れて

昔々、お爺さんとお婆さんが居りました。ある日のことお爺さんは山へ芝刈りにお婆さんは川へ洗濯へ行きました。お婆さんが川で洗濯していると大きな桃が流れて来ました・・・目が悪いお婆さんは気がつきませんでした・・・おしまい

桃が流れて2

昔々、お爺さんとお婆さんが居りました。ある日のことお爺さんは山へ芝刈りにお婆さんは川へ洗濯へ行きました。お婆さんが川で洗濯していると大きな桃が流れて来ました・・・お婆さんは気がつきません・・・桃は翌日も流れて来ました！その翌日も・・・桃は腐ってしまいました

美味くないラーメン

駅前にラーメン屋が出来た。いつも客でいっぱいだった！ある時、私は食事を終えて店を出て来た客に感想を聞いた。「味は美味くないけど、だがいい！」要領を得ないので自分で食べることに・・・懐かしい味！学食のラーメンの味がした！見回すと客は中高年の人ばかり

みやの日記

みやの日記。5月19日、ヒロくんがピアノを弾いてくれた！ヒロくんのお友達はもっと上手だと言う。今度、紹介してくれるとのことだ。5月20日、ヒロくんと砂場にいると先生が呼びに来た。「ヒロくんはいいの？」「ヒロくんはピアノ教室のお友達と遠い所へ逝ってしまったのよ」

フランクフルト

今日は日曜日。彼女とディズニーランドへ来ている。お腹が空いたのでフランクフルトを二人で食べる。フランクフルトを見ながら彼女がぼそりと言った。「今度は君を彼氏にしようかな！」え！と思ったが僕は理由を聞くことが出来なかった

牛丼戦争6

牛丼戦争、某牛丼チェーン店の新たな戦略。「来月より『汁だけ丼』を発売することになった」と店長。「汁だけなのですか？」と店員。「そ！牛丼の汁をかけて刻みネギを加えただけ」店長。「……」店員……汁だけ丼汁だく！売れるに売れた！

遊んでいた公園

子供の頃に遊んでいた公園へ行ってみた。よく乗ったブランコに座ってみた。不思議だ！こんなに低かったか！ 漕いでみた！ ギコギコと音がする！ 気がつけば夕方だった！ 帰ることにする！ 昔も夕方まで公園へいたものだ！

商売繁盛の鍵

ここはマスターが一人でやっているカレー店。味は悪くないし場所も悪くない。しかし流行っていない！常連客が商売繁盛の鍵だと言って箱を置いていった。開けてみた。鏡だった！そこには苦虫を噛んだような顔があった。それ以来、店に鏡を置くようにした・・・少しずつ客が増えていった

ロシアルーレット

ロシアルーレット 命と全財産を賭けたギャンブル。まず相手が引き金を引く。弾はでない！今度は私の番だ。引き金に指をかける。弾が出る予感がする。相手に向かって引き金を引く！即死だ！ついでに審判の男を銃で殴り倒す！ギャンブルで負けそうになると切れるのが俺の悪い癖だ！

いつもの自販機

いつもの自販機でビールを買う。「いつも有難うございます」と自販機。この自販機、喋ったかな？『いつも』とは、顧客認識機能でもあるのか？と考えていると。「サービスです」と言っ
てもう一缶出てきた・・・ビールを飲みながら思う。自販機も高性能なったもんだな・・・それ
とも

なかなかフォロワーが増えない

友人の誘いでtwitterを始める。なかなかフォロワーが増えない。友人に相談すると。その内増えるとのこと。数週間過ぎた。フォロワーは数十人になっていた。あることに気がつき片っ端から問いかける。同じ内容のDMが大量に来た。『どうして俺とわかった？』友人からだ

牛丼戦争7

牛丼戦争中の某牛丼チェーン店。「牛丼蕎麦を発売することになった」と店長。「カルチャーショックだ!」と店員。・・・「店長!蕎麦屋から『牛丼蕎麦はだだの肉蕎麦ではないか』と言うクレームが・・・」と店員。「『肉蕎麦には玉ねぎは入っていないぞ』と言い返せ」と店長。

鯛焼き

鯛焼きを半分にちぎり娘に聞く。「頭としっぽどっちがいい?」「頭」と娘。「頭の方には餡子がいっぱい入っているよ」私は頭の方を渡しながら言う。「じゃあ!しっぽ方には何がいっぱい入っているの?」と娘が聞く。「幸福!」と私は言ってしっぽにかぶりつく!

幼い兄弟が来る

男はカレー店を始めた。ある日、店に幼い兄弟が来る。兄がカレーを食べる。辛かった！「辛くないか？」兄がたずねる。「ううん辛くない」弟が答える。男がミルクを加えたからだ。新しくキャリアウーマン風の客が来る。いらいらしている。男は思う いらいらにはカルシューム

お前に幸福を与えよう

震災で両親と弟を亡くした少女がいた。少女は夢の中で神様に会う。神様「お前に幸福を与えよう」と言い大きな大きな幸福を差し出す。少女「私はいないから、みんなに分けて下さい」と言う。神様は幸福を少しだけ大きくしてみんなの為に分ける！

細いうどん

男は戦に負けて落武者になった。いや男は元々武士でなくうどん職人。それでも、森で一人で生活を始める。ある日、男は怪我をする。助けてくれたのは小人達、コロポックルである。男はコロポックル達の為に細いうどんをつくる。これが素麺の起源・・・でもいいのではないですか

ドラえもんが巨大化

ガンダムが町を襲い！ドラえもんが巨大化して対抗する。ドラえもんは十万馬力で戦っている。
ドラえもんは科学の子！頑張れ僕らのドラえもん！あれ！何か違うぞ！

全て変わってしまった

あれから全て変わってしまった！自由である反面、生活が重くのしかかってくる。毎日、生きて行く為に駆けずりまわる。あの日人類が滅亡して、僕たちはペットの地位を失った！

大地を表す黄色

女は離婚して小学6年生の娘と暮らし始めた。今日は残業だったらしく夜遅く帰宅。「ただいま！」「遅かったね！晩ご飯は？」女は娘の作ったオムライスを食べる。「美味しい！何だか少し元気が出たみたい！」・・・オムライス！生命力を表す赤を大地を表す黄色で包んだ食べ物！

死神の鼻

俺は死神に言った。「死神の目をくれ！」「悪いな死神の目はもう無い！死神の鼻ならあるが？」「じゃ！鼻をくれ！」こうして、俺は死神の鼻を得た・・・臭くってたまらない！死臭がして・・・

半透明人間

彼は『半透明人間』人々は彼をうっすら見ることができる。人々の反応は二種類。彼が全く見えないものとして扱うか、普通に見えているものとして扱う。彼の不自然さを誰も指摘しない。彼は今日も街をさすらう・・・

飛行機事故で

姉妹は飛行機事故で両親を亡くした。姉妹は奇跡的に助かった。記者「大変でしたね！両親がなぐられて・・・」姉「両親が亡くなったのは悲しいことです。でも妹が無事です。私は自分が不幸だとは思いたくないです。半分幸福そう思ことにします」と言って笑顔を作ろうと・・・

殺して下さい

『殺して下さい』とツイートした。私は何もかも嫌になり死にたいと思っていた。返信は来ないみんな引いているのだろう。翌日も『殺して下さい』とツイート。翌々日も。数日後、ツイートに返信が『ああいいよ』・・・その日から誰かに監視されている気がする。死ぬのが怖い！

皆既月食の日

ここは都会から離れた田舎の農家。皆既月食の日、農夫は月を見ていた。月は赤くなり、月のうさぎも赤くなる。とその時、うさぎは月をぴよんと飛び出しなくなる。翌日、農夫が外で仕事をしていると。赤いうさぎとペットのうさぎが仲良く一緒に跳ねて来る！

白一色だった

パンダの檻の前。少女「どうして白と黒なの？」パンダ「昔は白一色だった。悲しい事があるたびに黒くなった」少女「早く白一色に戻れるといいね！」パンダ「珍獣じゃなくなるよ」少女「そうか！でもパンダさんが幸せならいいわ！」この瞬間、パンダの何本かの毛が白に変わった。

起きている人いる？

「起きている人いる？」とツイート。『ノ』『起きているよ』の返信が帰ってくる。そんななか『死んでいる』と言う返信。プロフィールを確認。L o cは会社の近くだ。翌朝、テレビでガス爆発のニュースを見る。会社の近くだ。死者一名。名前は！・・・数時間前に見た名前だった

赤い血が流れている

「同じ赤い血が流れているとは思えない！」と僕は同級生に言った。同級生が幼い子供を殴る蹴るの暴行を加えていたからだ。彼は薄ら笑いながらナイフを取り出した。と、自分の腕に刺す！流れて出す緑の血！「赤い血なんか流れていねえよ」と彼は言い本来の姿に・・・

節電の為

「あなた 節電の為にエアコンを切るわね」「ああ」僕は仕方なく返事をした。「あなた テレビ、見ていないなら切ってください」僕はテレビの電源を切る。「お前はいい奥さんだね」といい妻を抱きよせ背中スイッチを切る。「これも節電のためだよ」とロボットワイフに呟く

銃？何処にあるのだね？

「この銃は心の穢れた者だけに見えます」「銃？何処にあるのだね？」と王様・・・ 王様 テロリストに正面から撃たれる！

眠れる森の美女（シーズン3）

森の中、美しい姫が眠っていた。王子様にキスされるのを待つて・・・しかし王子様は現れない。姫の側には10センチぐらいの小人達。何やら相談している。一人の若い小人が姫にキス・・・姫は小人とめでたく結婚。子供が産まれる。でも、どうやって？ 子作り・・・

眠れる森の美女（シーズン4）

森の中、美しい姫が眠っていた。王子様にキスされるのを待つて・・・数年後、王子様が現れてキスをする。と、美しい姫の顔がみるみる歳をとり老婆に！王子様は一言ってその場をさる「ごめんなさい！年上の女性は苦手なんで」

下町の食堂

下町の食堂。その姉妹はいつも2人で定食一人前を注文する。姉は妹に全部食べさせ、自分はお代わり自由なご飯、漬け物を食べる。母親は働いているが僅かな金しか与えられない。店の親父は姉に炒飯を出す。「注文間違えて作っちゃった！良かったら食べて」と言う。外に客はいない・・・

新発電方法

ハゲ頭を使った新発電方法が開発された！町にハゲの反射光を集める装置が設置された。電力事情が改善されると、馬鹿にされていたハゲが尊敬の対象となった。翌年、日本ハゲ党が政権をとり、ハゲ発電推進法を施行。全国民は男女の区別なく、髪の毛を剃る義務が生じた！

任務にやりがい

男は軍人。大震災が起こり人命救助へ向かった。始めは任務にやりがいを感じていた。時間が経つと、生存者より死体の方が多くなった。悲惨な地での重労働は精神を蝕んだ・・・10年後、男は精神病の施設にいた。時折、知り合いの娘が訪ねてくる。男が助けた子供だった・・・

懐かしい声

携帯画面が真っ暗になったがと思ったら、2年前に死んだ妻が画面に現れた！「霊界とその携帯をつなぐのに2年もかかったのよ！」いきなり懐かしい声がある。その瞬間！携帯を地面に叩きつけて壊す！やっぱり携帯は1年で機種交換しないと・・・

緊急対応

某国で原発事故があり緊急対応が行われた。その際、回収不可能な作業員の遺体と一緒に塗り固められた...気の遠くなる程の時間が流れた。アナウンサー「ここが新たに発見された古墳です。遺体は建物内に塗り固められており、死者の復活を恐れた当時の人が・・・」

人物像

図書館で自分の名前がタイトルの本があった。館員に聞くとそれは各個人の人物像を本にしたものだと言う答えが返ってきた。さっそく、その本を読もうと表紙をめくった。中身がなかった。

二人を見分ける方法

天使は質問に対して正しい答えしか言わない。悪魔は質問に対して誤った答えしか言わない。質問は「はい」「いいえ」で答えられるものとする。例えば「あなたは天使ですか？」と訪ねれば、天使は「はい」と言い悪魔も「はい」と答える。ひとつの質問で二人を見分ける方法は？

七夕の小さな星

今日は七夕。だが今年は少し様子が違っう。織女が赤ん坊を抱いていたからだ。勿論、牽牛の子供である。二人は子供の将来を相談する。両親が揃うのは年に一度だから。神様が現れて、二人の位置を動かす。 天の川の側に織女星と牽牛星、そして間に小さな星

大阪が独立

大阪が独立して大阪国となった。続いて、東京が現政府を見限って東京国となった。こうして、日本列島には、大阪国、東京国、日本国と言う三つの国が存在するようになった。この時代の歴史を三国志と言う!?

当店の寿司ネタ

回転寿司へ行くとしゃりだけが流れていた。ふと見ると貼り紙があり。『当店の寿司ネタは心が清い人しか見えません！』仕方ないので、しゃりだけを食べる。勘定を払う時に店員に言う。「私のお金は心が清い人にしか見えません！」

人生感

男女数人で飲んでいる時の事である。人生感の話になり私は言った「短くても豊かな人生がいい」別な男が言った「僕は細く永くがいい」と女達数人が言った「太く長くがいい！」話題変わっていないか！

旅だつ準備

死神が現れて男に言う「あの世に旅だつ準備はいいか？」男は懇願する「待ってくれ！娘の入学式まで！」死神は消える・・・再び死神が現れる「今度はいいか？」男「待ってくれ！娘の誕生日まで！」死神は消える・・・死神が現れる「もういいか？」男「待ってくれ！娘の葬式まで！」

某議員のtwitter

某議員がtwitterを始めた。フォローすると返信のツイートがあった。『あなたはちょうど1万人目のフォロワーです！つきましては、1万の政治献金をお願いします！ああここオフレコね！呟いたら終わりだからね！』オフレコ！？ツイートしてるじゃん！

猫がパソコンを使っていた

家へ帰ると隣の家の猫がパソコンを器用に使っていた。猫はお取り寄せの海鮮グルメ次々と注文していく。もちろん、払いは私のカードからだ。注文した商品が届いたら、商品を持って隣の家へ請求しに行こう！でもどうやって・・・

熊が死んだふり

熊が死んだふりをしていた。私は恐る恐る熊に近づいてわけを聞いた。猟銃で撃たないで欲しいとのこと。「分かった」と応えると熊が襲いかかってきた！

女神の前髪

幸福の女神は前髪しかないという。だから、通り過ぎる前に掴まないいけない。それ！掴んだ！あれ！髪の毛が抜けて・・・それでも私は成功した！今度は女神にお礼を言う為に待ち構える。女神が来た！あれ、後ろにも髪の毛がある「あんたが抜いたのでカツラにしたのよ」女神は走り去る

どうされました？

頭痛がするので病院へ行った。「どうされました？」と医者が訊いた。て「頭がおかしい」と僕は答えた。入院した。精神病棟に！

前世占い

私は前世占いの占い師だ。正直な話、お客の前世なんて思いつきで言っている。夫婦のお客が来た。奥さんに言う「前世は猫です」旦那に言う「前世はネズミです」途端に逃げ出す旦那。後を追う奥さん！暗示にかかり易い人達だ！おっと！見料を踏み倒された！前世は狐と狸だったか・・・

商標権侵害

ある会社から私のツイートに対して商標権侵害だと言う申し立てがあった。どこが侵害しているか聞くとアカウント名だった。アカウント名には私の名前を英語表記したものを使っている。納得できないので裁判になった・・・今、私は自分の名前の使用料を毎月払っている。そんな馬鹿な！

特に遅しい

奴が今年も張り切っている。最近、特に遅しい！でも、奴に付き合って人間も大変だ。奴のせいで汗だくだ！奴、『夏』は最近特に遅しい！

違う！

「違う！」と言う声を聞いて目が覚めた。何だか天の声に聞こえた。それから、ニートだった僕は仕事を見つけ積極的に生きた・・・歳月が流れて儂も最後の時を迎えようとしてした。その時、またあの声が「違う！今日は雨の予定ではない！」え！天気の話だったの・・・

うなぎを買いに行く

スーパーにうなぎを買いに行く。スーパーではどういう訳か生きたうなぎしか売ってがなく、一匹買って帰る。帰る途中にうなぎは逃げだして車に轢かれる。ペッシャンコになったうなぎを持ち帰り、うなぎパイを作る。案外美味しい！これがうなぎパイの起源だと言われている【嘘です】

もぐらのように

自分かもぐらになった気でいた。地下にずっといるせいかもしれない。僕はもぐらのように自由に動きたいと思ったのかもしれない。十年前に生きたままここに埋められ骨だけになった僕は指さえ動かすことができない。知っている、僕が死んでいることを・・・

ミンミン...

ミンミン...蝉の鳴き声です。夏になったと感じる。でも冷房がなかった時代、蝉の鳴き声は結構鬱陶しかったのではないかと思ってしまう。気がつけばつくつくぼうしの声も混ざっている。出かけ時間なので蝉の鳴き声を止める。20XX年環境音第一位『今はもういない蝉！』

俺は写真家

俺は写真家。今日は有名女優のセミヌードの撮影。撮影は盛り上がった！彼女はのりがいい！「じゃあ！全部脱いで！」とつい。彼女は全裸になる。俺は彼女に木にしがみついているポーズをとらせる。「何でこんなポーズ？」彼女。俺は心の中で呟く『だって蝉ヌードの予定だから...』

縄張り

奴らが勢力を伸ばしている。昔は同じぐらいの縄張りだったが、俺達は段々縄張りを侵食されている。特に俺の相棒の縄張りは酷い有り様だ。俺は憎しみ込めて奴らを見る。俺『春』は弱っている相棒『秋』庇って奴ら『夏』と『冬』と対峙する。

繰り返し

このツイートを何回したろうか！信じられ無い話だが俺は今日このを繰り返している！【15349回目】暫くして返信がある。『俺もだ！』いつもの奴からだ。俺はいつものようにそのツイートを返信をする。期待はせずに・・・

コロコロ！

暑い！いや熱い！...タコ焼きの丸い穴の中でタコ焼きコロコロ！ 地球温暖化...どこかの丸い穴
の中で地球がコロコロ！

公園で若い男女

公園で若い男女が二人！暗くて表情は見えない！ふっと視線を逸らしたした間に姿が消える！代わりに二つの炎がゆらゆら・・・

窓から夜空を見ている

窓から少女が夜空を見ている。今晚は流れ星が見れる。少女が側にいる少年に言う「流れ星が見えたら教えてね！」少女は見えない目を潤ませて言う。少年は大きくうなづく！

土曜日は？

「金曜日はカレーの日！知っているか？」と少年が言う。「知っているよ！元々海上自衛隊の習慣何だろ」と別の少年。「じゃ！土曜日は？」「土曜日...」「土曜日はうなぎ！」「それは土用の日だろ！」...『うなぎだけに滑ったかなこの話』（作者）

秋の味覚

妻は料理が下手だ。今日も不味い夕食を食べる。本人には言えない。夕食後、テレビで秋の味覚に関する番組をやっていた。「秋の味覚を味わいたいな～」と呟いてしまう。妻は聞き流している。翌日の夕食。妻が料理をだしながら言う。「秋の味覚コウロギの天ぷらです」何だと！

携帯に出る

携帯が鳴った。電話に出る。「〇〇が死んだ！」声が小さくて聞き取れない。「え？誰が死んだって？」「〇〇が死んだ！」今度は聞き取れた。〇〇 俺の名前だ。その瞬間！電話に気を取られ赤信号に変わっても道路の真ん中で電話をしていた俺にトラックが突っ込んでくる！

twitterによるデマ

twitterによるデマが社会問題になり事実でない虚偽の内容のツイートをした者は刑罰の対象とされた。一般的には罰金を科せられたが悪質な場合は実刑となった...この法令施行後、twitter上で#twnovelタグを使っていた者は全員逮捕された！

育ててくれないか？

子供を流産した。悪魔が現れて言う。「私の子だが育ててくれないか？」赤ん坊を受け取る。赤ん坊はすくすく育つ。私を見て笑っている。首を絞める。『悪魔の子なんだから！』と心の中で呟く・・・悪魔が現れて亡骸を見ながら言う。「立派な悪魔に育つだろう」亡骸とともに消える

文字制限

ある日、twitterの文字制限が1万字に拡張された。その日を境にtwitter小説を呟く者はいなくなった！

半年が経つ

この町から人がいなくなって半年が経つ。原発事故のせいだ。なぜ逃げないかって？ 俺は犬だ！どこに逃げればいいんだ！ 最初の頃は人恋しくて仕方なかったが今は生きて行くので精一杯だ。今日の獲物を探す！ 俺は本来の俺達の生活に戻った！ もう人間と一緒に生きる気はない！

冷蔵庫を開けると

休日の昼食。サラダを取り出そうと冷蔵庫を開けると北極だった。驚いて閉める！中からノックの音が...開けると白熊が出てきた。驚いている家族をしり目に白熊は料理を平らげて冷蔵庫の中に戻って行った。再び冷蔵庫を開けるとサラダがあった。昼食はサラダだけを食べた。

男は人形師

男は人形師。最後の人形をつくっている。男はこの人形を完成させたら引退する。人形のモデルは孫娘。人形に孫娘の生き生きとした姿を映すことが出来たら完成。男は孫娘に会いに出かけようとしていた。と電話が鳴る...人形をは完成させることができなくなった。人形が泣いている...

台風を言い訳

台風を言い訳にして仕事をさぼっていると奴が俺を呼びにきた。「何をしているのだ！お前が出ないでどうする！」奴『風』が俺『雨』を無理矢理連れ出す。

ツイートした**twitter**小説

ツイートしたtwitter小説が消えていてFacebookに投稿されていた。twitter小説自身に聞いてみた。『私のテーマは140文字では表現できません！』との返事。見ると結構反響がある！かってにしる！何だかんだ言っても#twnovelのタグを付けたままだぞ！

一面の雪景色

窓を開けると一面の雪景色。え！この季節にと思っていたと『秋』がやってきて言う。「出番が遅いものだからつい寝てしまって…」そして『冬』に対して「おい！お前の出番はまだ後だろ！」

背後の姿

幼い女の子が一人公園で遊んでいた。不審な男が女の子に近づいて「お嬢ちゃん！おじさんと遊ぼう！一緒にドライブに行こう！」女の子が立ち上がり男について行こうとした瞬間。男は脅えたように立ち去る。女の子の背後に見えていた鬼女の姿が菩薩の姿に変わる。